1. ルート証明書のインストール手順

1. 『sroot_sha2.cer』ファイルを開いて、下記の画面が表示されたら「開く」をクリックします

開いている	ファイル - セキュリ	ティの警告		×
このファイ	′ルを開きますか?			
-	名前: 発行元: 種類:	C:¥l 不明な発行元 セキュリティ証明書	ِ)¥sroot_sha	a2.cer
	発信元:	C:¥U	p¥sroot_sha	a2.cer
			開〈(O)	キャンセル
<u>√</u> 207	ァイルを開く前に	常に確認する(W)		
Ì	インターネットの 題を起こす可う 開かないでくた	Dファイルは役に立ちま 能性があります。発信 さい。 <u>危険性の説明</u>	すが、このファイルの種類 元が信頼できない場合(iはコンピューターに問 よ、このソフトウェアを

2. 「ルート証明書のインストール」をクリックします

9	証明書	\times
全	般 詳細 証明のパス	
	1000日日本の情報	
	• すべての発行ポリシー	
	• すべてのアプリケーション ボリシー	
	発行先: SECOM Passport for Member CA11	
	発行者: SECOM Passport for Member CA11	
	有効期間 2015/06/25 から 2035/06/25	
	証明書のインストール(I) 発行者のステートメント(S)	
	ОК	

3. 「現在のユーザ」を選択して「次へ」をクリックします

← → 参 証明書のインボート ウィザード	×
証明書のインポート ウィザードの開始	
このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピー します。	
証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護 されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステ ム上の領域です。	
保存場所 ● 現在のユーザー(C) ● ロー <i>ЛIV ユ</i> ノビューター(L)	
続行するには、[次へ] をクリックしてください。	
次へ(N) キャンセ	μ

4. 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択して「次へ」をクリックします

	×
← 参 証明書のインポート ウィザード	
証明書ストア	
証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)	
● 証明書をすべて次のストアに配置する(P)	
証明書人ト/: 参照(R)	
次へ(N) キャンセ	μ

5. 一覧の中から「信頼されたルート証明書機関」を選択して「OK」をクリックします

証明書ストアの選択		
使用する証明書ストアを選択してください(C)		
□□ 信頼されたルート証明機関	^	
ニー エッナ・プライズの信頼		
- 信頼された発行元 - 信頼されていたい証明書		
	~	
□ 物理ストアを表示する(S)		
OK キャンセノ	ŀ	

6. 証明書ストアの欄に「信頼されたルート証明書機関」と表示されていることを確認して「次へ」をクリックします

	×
← 参 証明書のインボート ウィザード	
証明書ストア	
証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)	
 ・証明書ストア: 	
次へ(N) キャンセ	λ

7. 下記の画面が表示されたら「完了」をクリックします

← <i>憂</i> 証明書のインボート ウィザード	×
証明書のインポート ウィザードの完了	
[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。	
次の設定が指定されました: ユーザーが選択した証明者ストア 信頼されたルート証明機関 内容 証明者	
	-
完了(F) キャン	セル

8. 下記の画面が表示されたら「はい」をクリックします



9. 「OK」をクリックします



以上で、ルート証明書のインストールは完了です。

電子証明書の確認手順で、「証明書のパス」にルート証明書が表示されているかを確認してください。